

テレプレゼンスロボット「temi」を使ったアクアスでのリモート校外学習について

《取材報道依頼》

実施校	島根県立江津清和養護学校
協力	島根県立しまね海洋館 アクアス
期日	令和3年11月30日（火）13：40～14：25
場所	しまね海洋館 アクアス
参加児童	島根県立江津清和養護学校 小学部5・6年生（2名）
概要	テレプレゼンスロボット「temi（テミ）」をアクアスに持ち込み、学校の教室と繋いでリモート校外学習を実施します。アクアス職員から観察のポイント等を教わりながら、教室からtemiを遠隔操作して主体的に見学を行います。

島根県立江津清和養護学校について

江津市渡津町にある県立の特別支援学校です。県西部の肢体不自由教育と病弱教育の拠点として、地域のセンター的機能の役割を担っています。現在は、小・中・高等部あわせて25名の児童生徒が、学習に取り組んでいます。

今回のリモート校外学習に至る経緯

江津清和養護学校在籍の児童生徒は、身体に障がいがあったり、病状により生活に制限があったりすることで、体験的な活動や、実際に現地へ出かけて学ぶ経験が少なくなってしまう傾向にあります。また、医療的ケアを必要とする児童生徒も在籍していることから、感染症等には細心の注意を払う必要があり、コロナ禍にある現在は、以前に比べて校外学習に出かける機会が少なくなっています。

このような現状を改善するための取組の一つとして、島根県では島根県教育委員会、島根県立大学、NTTドコモ中国支社島根支店と連携し、ICTを活用することによって、それぞれの子どもたちに合った学びの実現を目指した先端技術トライアルを実施しています。ここで得た経験を発展させて、江津清和養護学校では遠隔操作が可能なtemiを借用し、校内での使用実績を積み重ねながら、校外での活用を模索してきました。この主旨に地域連携の取り組みを進めるしまね海洋館アクアスが協力してくださることになり、試行的なプログラムとして今回のリモート校外学習が実現しました。

リモート校外学習に込めた思い

江津清和養護学校の児童生徒にとって、temiには“行きたくても行けない所に、代わりに行ってくれる自分の分身”となる可能性を秘めています。今回のリモート校外学習を通して、離れた場所からでも自分でtemiを操作して海の生き物を主体的に観察し、校内に居な

がら安全に校外施設での学習を経験するとともに、その有用性を参加児童が実感してほしいと願っています。また、人との繋がりがもちにくくなっているコロナ禍の現在において、ICTを使った新しい人との繋がり・出会いの広がりについても、感じ取ってほしいと考えています。

江津清和養護学校では今回のリモート校外学習を貴重な財産として捉え、学校の実状と児童生徒一人一人の教育ニーズに応じた、新しい学習スタイルの構築及び充実を目指して、ICT技術を活用した取組を継続して進めていきたいと考えています。

アクアスの考え

アクアスでは海の不思議や生物の生態についてさまざまな方にご利用いただき、楽しんでいただける施設として、多様なアクアスの楽しみ方を提供していきたいと考えています。今回のリモート校外学習を実施することで、参加者の社会への参加意欲が生まれ、学習意欲の向上にもつながればと考えています。

テレプレゼンスロボット「temi」について

テレプレゼンスロボットとは、カメラ、マイク、ディスプレイなどが搭載され、遠隔地からパソコンやスマートフォンなどで操作ができるロボットのことを指し、temiは上記の機能に電動式の車輪を加え、移動操作をすることも可能です。リアルタイムでロボットが伝送する映像や音声によって、自身がいるかのように他者とコミュニケーションをとることができ、オフィスのテレワークや遠隔授業などに役立つとして注目を集めています。

※説明文章は一部「知恵蔵 mini」から引用

